

令和3年第1回教育委員会臨時会議事録

令和3年2月15日（月）

杉並区教育委員会

教育委員会議事録

日 時 令和3年2月15日（月）午前9時15分～午前9時31分

場 所 教育委員会室

出席委員 教 育 長 白 石 高 士 委 員 對 馬 初 音
委 員 久 保 田 福 美 委 員 伊 井 希 志 子
委 員 折 井 麻 美 子

出席説明員 事 務 局 次 長 田 中 哲 中央図書館館長
生涯学習担当部長 田 部 井 伸 子
中 央 図 書 館 次 長
庶 務 課 長 都 筑 公 嗣 学 務 課 長 村 野 貴 弘
生涯学習推進課長 本 橋 宏 己

事務局職員 庶 務 係 長 佐 藤 守 法 規 担 当 係 長 岩 田 晃 司
担 当 書 記 春 日 隆 平

傍 聴 者 0 名

会議に付した事件

(議案)

議案第9号 令和2年度杉並区一般会計補正予算(第13号)

目次

議案

議案第9号 令和2年度杉並区一般会計補正予算（第13号）・・・4

教育長 ただいまから令和3年第1回杉並区教育委員会臨時会を開催いたします。

本日の会議について、事務局より説明をお願いいたします。

庶務課長 本日の議事録署名委員につきましては、教育長より事前に折井委員との指名がございましたので、どうぞよろしくをお願いいたします。

続きまして、本日の議事日程についてでございますが、議案1件を予定しております。

以上でございます。

教育長 それでは、本日の議事に入りますが、本日の案件につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく区長からの意見聴取案件として、意思形成過程上の案件となっております。したがって、同法第14条第7項の規定により会議を非公開としたいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

教育長 それでは、異議ございませんので、本日の会議を非公開といたします。

それでは、議案の審議を行いますので、事務局より説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、日程第1、議案第9号「令和2年度杉並区一般会計補正予算(第13号)」を上程いたします。私からご説明させていただきます。

議案を2枚おめくりいただきたいと思います。補正予算概要の1ページ目をご覧ください。歳入歳出予算でございますが、事務事業名の欄に記載の6事業について、補正額の欄に記載の金額を補正するものでございます。

まず、表の2番目「学校給食の推進」についてでございます。先日の教育委員会において、松ノ木中学校給食室の火災事故の概要等についてご報告をさせていただいたところです。今後、2学期から給食再開を目指し給食室の復旧工事を行ってまいります。火災によって使用できなくなった松ノ木中学校の厨房機器の洗浄、修理等を行う必要がございます。また、4月以降、松ノ木中学校の給食室が使用できない期間、代替の給食室として、旧杉並第八小学校の給食室を活用し、調理、配送することを予定しております。

しかし、旧杉並第八小学校の給食室は、現状のままでは調理作業ができませんので、新たな厨房機器や食器類等の消耗品の購入や、厨房機器の保守点検委託などが必要となってまいります。

さらに、調理をした給食を松ノ木中学校まで運搬する食缶コンテナも新たに購入していく必要がございます。このため、これら3月末までに必要とする経費、1,976万4,000円を補正するものでございます。

なお、4月以降に必要となる、松ノ木中学校の給食室の復旧工事等については、別途補正予算として計上していく予定でございます。

また、特定財源の「国・都支出金」の欄に記載の金額については、別の事案に関するものですので、後ほどご説明させていただきます。

次に、表の一番下の6番目「図書館施設維持管理」についてでございます。新型コロナウイルスのワクチン接種会場として、区内の様々な施設が候補として検討されているところでございます。その中で永福図書館も接種会場の候補となっておりますが、永福図書館は、4月1日から「コミュニティふらっと永福」との複合施設として、旧永福体育館跡地に移転するため、現在の永福図書館の施設は空き施設となります。

しかし、現状のままではワクチン接種会場としては使用できないため、1階ロビーと接種会場の間にある段差を解消するためのスロープの設置や、書架を撤去した後の床へのシートの敷設、超低温冷凍庫用のコンセントの設置が必要となってまいります。

このため、これら3月末までに要する経費として、300万円を補正予算として計上するものでございます。

なお、4月以降に必要となる、光熱水費や施設維持管理経費については、別途補正予算として計上していく予定でございます。また、特定財源の「国・都支出金」欄に記載の金額については、別事案になりますので、後ほどご説明をさせていただきます。

次に、記載の全事業の各歳入部分については、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の財源更正に関する事項になりますので、所管は異なりますが、一括して説明をさせていただきます。

まず、「学校給食の推進」、「郷土博物館の運営管理」、「図書館施設維持管理」についてでございます。これらの事業については、新型コロナウイルス感染症対策として、今年度の補正予算に計上している事業で

すが、全額を一般財源で計上しております。これらの事業についても、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用が可能であることから、区全体の交付金の執行状況を精査するなかで、財源更正を行うことにより、新たに、特定財源の「国・都支出金」欄に記載の金額の交付金をそれぞれ充当するものでございます。

具体的にご説明しますと、「学校給食の推進」は、令和2年度一般会計補正予算（第3号）において計上した、区立学校の臨時休業により学校給食が休止したことに伴い実施した、学校給食納入業者への事業継続支援に関する経費でございます。

「郷土博物館の運営管理」、「図書館施設維持管理」は、令和2年度一般会計補正予算（第4号）において計上した、トイレ手洗い用の自動水栓の設置経費でございます。

次に、「情報教育の推進」、「小学校の運営管理」、「中学校の運営管理」についてでございます。

令和2年度杉並区一般会計補正予算（第6号）において、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する事業について、補正予算として計上したところでございます。

これらの事業について、特定財源の「国・都支出金」欄に記載の額が減額となっておりますが、各事業の執行状況を精査するなかで、ただいまご説明した交付金が活用可能な他の事業に充当できるよう区全体として調整を図るものでございます。

具体的にご説明しますと、「情報教育の推進」は、児童・生徒1人1台タブレットパソコンの配備に関する経費の実績による減でございます。

「小学校の運営管理」、「中学校の運営管理」は、区立学校のトイレ等にある、手動水栓を自動水栓に改修し、児童・生徒等の感染リスクの軽減を図るため、さらに、学校規模に応じて、200万円から400万円を各学校に配分し、学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童・生徒への学習保障の取組を、校長判断で迅速かつ柔軟に対応することができるようにするための経費の実績による減でございます。

これらの事業については、歳出予算の増減はありませんが、内訳となる特定財源の増減がある関係から、差し引き一般財源についても記載のとおり増減するものでございます。

歳入歳出予算につきましては以上でございます。

議案をさらにもう1枚おめくりいただき、2ページ目をご覧くださいと思います。教育費の総額を記載してございます。今回の補正によって、2,276万4,000円を増額いたしまして、補正後の教育費の総額は206億6,224万2,000円でございます。

なお、特定財源のうち、「国・都支出金」につきましては、2,200万円を減額し、補正後の総額は19億5,091万1,000円となっております。

これにより、差し引き一般財源につきましては、4,476万4,000円を増額し、補正後の総額は128億3,350万1,000円でございます。

以上で、補正予算の説明は終わらせていただきます。議案の朗読は省略させていただきます。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたら、お願いいたします。

久保田委員 「情報教育の推進」について、1つ質問いたします。今回1人1台専用のタブレット端末の普及ということで、今回全員に行き渡ったということで大変よかったと思うのですが、行き渡った段階で各学年のレベルで出てきている問題というのを幾つか聞いております。例えばメーカーが3種類ぐらいあると聞いたのですが、それぞれの対応が各学校で非常に手間取っているというか、大変だということも聞いております。それから、1台1台設定をしていくというのは非常に時間がかかるので、これまた大変で、タブレットは1人1台行き渡ったけれども、なかなかその先に進めないということも聞いております。

それから、タブレットの保護という点で、やっぱりカバーは必要かなと思うのですが、カバー自体も簡単に買えるものではないということも聞いておりますので、その辺も含めて今後、人、それからそういった物に対するお金とか、そういう手だてが必要になってくるかなという気もしているのですが、その辺の見通しは何かありますでしょうか。

庶務課長 ありがとうございます。まず1点目の3種類のメーカーについてですが、これは今まで杉並区がタブレットパソコンを導入していくなかで、現在は、リースで契約をしているNEC製のもの、富士通製のものと、そして今回、1人1台タブレットパソコン配備の中で購入した、K50というダイナブック製のもの、3種類のものがあるというのが現状です。これは、リース契約上そうせざるを得なかったもので、3種類となっているのですが、これをすぐに解決するためには、全て買い替えてK50

にするというのが端的な手法なのですが、それには莫大なお金がかかってしまいます。今回、1万9,000台のK50を購入しましたがけれども、現存している約9,000台のタブレットパソコンについては、リース期間が終了するまで、現場にはご苦勞をかけてしまうのですが、リース期間が終了した時点で、できるだけ同じスペックのもの、同じ種類のものに買い替えをしていきます。若干、時期は前後しますがけれども、3年間かけて同じスペックものをそろえていきます。

ただ、この3年という時間をかけている間に、今年度買ったK50が陳腐化するかもしれないということも当然想定できるので、本当に現場にはご苦勞をかけるのですけれども、時期を見ながら、一体どういうものを戦略的に買っていくべきなのか、ということを考える必要があります。そのころには、デジタル教科書もかなり明確になってくると思われまますし、それをクラウドでやっていくのか、ということも課題ではあります。今後、日本中でクラウドが主流になったときに、どのような状況になるのか分かりませんので、計画性はもちつつ都度修正しながら対応していくことになるかもしれませんが、3種類についてはリースの切り替えの際に、そろえていくということを考えております。

2番目の設置の問題点で出てきているのは、今、杉並第六小学校と阿佐ヶ谷中学校で実証実験をさせていただいて、全校一斉に立ち上げるという作業をしています。実験では、機器の中には、すごく動きが鈍いものがあるというのが現状です。

実際には、それは回線の問題で、机上の計算値では分かり得ないところなので、その問題を改善するために、学校からサーバーの設置場所までの回線を太くするというのを2月までにやり、少しでも通信をスムーズにしようとしています。

ただ、これも23区で一斉に、1人1台タブレットパソコンの活用が動き出したときにどうなるのか、また、この杉並というエリアで、民間企業も含めて、一番通信回線を使っている昼間の時間帯に、学校も加わったときにどうなるのか。杉並区と地域の環境が異なるエリア、例えば企業が集中している千代田区とは、また違う状況が想定されますので、学校というレベルで語っていくことではないかもしれないということも、業者と話をしています。

いずれにしても、検証作業が終わりましたので、今月中には若干

の遅れはありますけれども、各学校で最後のセッティングを始めているところです。ICT 支援員の方にもお手伝いを頂きながら、今月中には終わらせて、3月には始動し、また次のステップの課題を明らかにしていかなければいけないという段階に入っていると理解しております。

それから、3番目のカバーのことなのですが、最終的に1人1台専用のタブレットパソコンというのは、貸与ではありますけれども、個人に帰属するものという認識です。カバンの中でのクッション材ということであれば、家庭のご負担でやっていただきたいと考えております。それは、子どもの安全・安心を守る性質の物品とは違うものだという理解をしていますので、各ご家庭でのご準備ということをお願いしようということにしております。

ほかにいかがでしょうか。

それでは、教育長、議案の採決をお願いいたします。

教育長 それでは、採決を行います。議案第9号につきましては、原案のとおり可決して異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

教育長 異議ございませんので、議案第9号につきましては、原案のとおり可決といたします。

それでは、以上で本日予定しておりました日程は全て終了いたしました。本日の教育委員会を閉会いたします。ご苦労さまでした。